



## &lt;かにせ せいいち&gt;

1950年生まれ。上智大学卒業後、米国AP・フランスAFP通信記者を歴任。87年から米国ミシガン大学大学院に留学、88年『TIME』誌特派員として帰国、91年TBS「報道特集」キャスターとしてテレビ報道界に転身。その後、文化放送「蟹瀬誠一、ネクスト」のパーソナリティー、「賢者の選択」(BS朝日)などのキャスターを務め、2004年から明治大学文学部教授、国際日本学部学長を歴任、現在は同学名誉教授。23年5月よりSBI大学院大学学長も務める。特定非営利活動法人外交政策センター理事、価値創造フォーラム特別顧問、SPRIX教育財団理事、東京クラシッククラブ専務理事。

## 米国が犯してきた罪

歴史を振り返れば、中南米が“反トランプ”はそれをさらに一步踏み込んで西半球全域に米国の権力を行使しようという野望を抱いている。

いうモノローグ主義を宣言した。

トランプはそれをさらに一步踏み込んで西半球全域に米国の権力を行使しようという野望を抱いています。

マドウロ大統領を国際的制裁対象となる麻薬テロリストに指定し、5000万ドル(約74億円)の懸賞金までかけています。

表向きの理由はベネズエラが米国向けコカインなど麻薬輸送、出荷ルートのひとつだということだが、真の狙いは反米ニコラス・マドウロ政権の打倒と同国の豊かな石油資源の支配だ。軍事行動によつて「強いアメリカ」を見せつけ、国内の支持率低下を食い止めたいという思いもあるに違いない。

その「小さなベネチア」と呼ばれる人口2850万人の国に、傍若無人人なトランプ米大統領が軍事的压力をエスカレートさせている。

## まるでモノローグ主義

南米北部、カリブ海に面する緑豊かな国ベネズエラ。首都カラカラスから見渡す山々の光景は息を呑むほど美しい。市中心部には高層ビルが立ち並び、ユネスコ世界遺産に登録されたベネズエラ中央大学は20世紀前半のモダニズム建築の傑作とされている。

その「小さなベネチア」と呼ばれる人口2850万人の国に、傍若無人人なトランプ米大統領が軍事的压力をエスカレートさせている。

## 時事刻観

蟹瀬誠一

の  
World-Scope

中南米へのトランプ圧力と  
その歴史的背景

12月に入つて、さらに劇的な動きがあつた。米海軍と沿岸警備隊員によるベネズエラ沖での石油タンカー急襲である。拿捕した石油タンカーは自慢げにこう答えていた。  
"We will keep it." (われわれが保管する)。かつてのモノローグ主義を彷彿とさせる展開だ。

イギリスからの独立から半世紀後、米国はルイジアナをフランスから買収、南のフロリダ半島もスペインから買収すると、南に広がる中南米の支配を視野に入れ始めた。We will keep it. (われわれが保管する)。かつてのモノローグ主義を彷彿とさせる展開だ。

第5代ジェームズ・モンロー大統領は1823年、欧州列強によるアメリカ大陸への干渉を拒否し、米大陸の安全は米国が守ると

石油大国ベネズエラは、糾余曲折はあるながら98年頃まで米国に従する政権が続き、米国流の新自由主義経済政策によつて「王様と物乞いの国」と揶揄されるほど貧富の差が絶望的にまで広がつた。

そこには、世界の注目を集めている。民主党や人権団体は政権に上昇したのだ。

現在、世界の注目を集めている中南米を自国の勢力圏とみなして

石油大国ベネズエラは、糾余曲折はあるながら98年頃まで米国に従する政権が続き、米国流の新自由主義経済政策によつて「王様と物乞いの国」と揶揄されるほど貧富の差が絶望的にまで広がつた。

そこには、世界の注目を集めている。民主党や人権団体は政権に上昇したのだ。

石油大国ベネズエラは、糾余曲折はあるながら98年頃まで米国に従する政権が続き、米国流の新自由主義経済政策によつて「王様と物乞いの国」と揶揄されるほど貧富の差が絶望的にまで広がつた。

そこには、世界の注目を集めている。民主党や人権団体は政権に上昇したのだ。

石油大国ベネズエラは、糾余曲折はあるながら98年頃まで米国に従する政権が続き、米国流の新自由主義経済政策によつて「王様と物乞いの国」と揶揄されるほど貧富の差が絶望的にまで広がつた。

そこには、世界の注目を集めている。民主党や人権団体は政権に上昇したのだ。

石油大国ベネズエラは、糾余曲折はあるながら98年頃まで米国に従する政権が続き、米国流の新自由主義経済政策によつて「王様と物乞いの国」と揶揄されるほど貧富の差が絶望的にまで広がつた。

冷戦時代には、反共産主義であれば軍事政権でも支持し、米国に都合の悪い政権はクーデターを起こして民主主義を潰した。中南米の人々には米国がテロの黒幕に見えたとしても不思議はない。

米西戦争ではキューバを半植民地化しがアンタナモ基地(拷問有名)を手に入れた。コロンビアにも軍事的圧力をかけてパナマを独立させ、運河の恒久的支配権を獲得している。グレナダ侵攻、パナマ侵攻、二カラグア反政府ゲリラ支

援、キューバ経済制裁など、米国は中南米を自国の勢力圏とみなして

石油大国ベネズエラは、糾余曲折はあるながら98年頃まで米国に従する政権が続き、米国流の新自由主義経済政策によつて「王様と物乞いの国」と揶揄されるほど貧富の差が絶望的にまで広がつた。

そこには、世界の注目を集めている。民主党や人権団体は政権に上昇したのだ。

石油大国ベネズエラは、糾余曲折はあるながら98年頃まで米国に従する政権が続き、米国流の新自由主義経済政策によつて「王様と物乞いの国」と揶揄されるほど貧富の差が絶望的にまで広がつた。